



NIAふれあい掲示板



NEWS 2月号



平成26年2月1日発行
習志野市国際交流協会
日本語教室部会
vol.28

◆NIAの予定 2月、3月◆

2月 3日(月)、5日(水)
2月 6日(木)

あすなろ会 折り紙

世界の料理教室 タイ料理

場所・時間/菊田公民館 10時～ 講師/草間カンヤパク 学習者(水)

2月23日(日)

文化交流部会主催 ミニバスハイク 房総 御宿ぐるり旅

◆学習者紹介◆

- ① 名前 (学習 曜日)
- ② 出身 国、都市
- ③ 趣味
- ④ 一言
- ⑤ 担当日本語ボランティア



- ① ルイス アルトゥーロ R. ブリト(月)
- ② メキシコ、メキシコシティ
- ③ ベースギターをひくこと
- ④ ロボットの博士になりたい。
(千葉工業大学でロボットを研究中)
- 日本語をしゃべれるようになりたい。
- ⑤ 原田 益次



- ① 王 秦英(水)
- ② 中国、甘肅省
- ③ 餃子作り、カラオケ、ボウリング
- ④ 昨年の3月に日本に来ました。
娘の家族と一緒に住んでいます。
- 一緒に旅行に行けて楽しいです。
- ⑤ 舘向 智美



- ① 缶吉 リサ(土)
- ② ブラジル、クリチバ
- ③ パソコン、読書
- 動物が好きでオカメインコを飼っています。
- ④ 高校に合格して高校生活を楽しまたい。
- ⑤ 後藤 美貴子



◆新年茶話会 1月15日～20日◆

1月15日(水)、16日(木)、18日(土)、20日(月)の各曜日に新年茶話会が開催されました。

参加者は学習者65名、日本語ボランティア86名の合計151名(昨年124名)で、新年にふさわしい交流の場となりました。私が参加した20日(月)は初めに日本のお正月の文化や遊びについて説明があり、会場にはそれらに関する品も飾られていました。その後、恒例となったビンゴ大会が始まると、司会者が番号を読み上げる度に歓声があがったり、溜息がもれたり。ビンゴになった学習者から順に豪華な賞品をもらい、皆の前で今年の目標や希望などを発表しました。



日本のお正月の遊び

日本語が上手になりたい、日本人の友達が欲しい、家族が健康で過ごせますように、と願う人が多かったようです。発表が終わると担当ボランティアの自己紹介、その後、平成25年度の日本語ボランティア養成講座を修了した新しいボランティアの自己紹介がありました。最後に何人かの学習者に自分の国でのお正月の過ごし方を聞いてみたところ、ほとんどの国で家族が集まり一緒においしいものを食べてのんびり過ごすとのことでした。この点は万国で共通しているんですね。今年もよい一年でありますように。(山)



自己紹介する新しいボランティア



今年の目標を思い思いに書く学習者



盛り上がるビンゴ大会の様子

◆世界のお正月◆ ～スペイン編～



カルメン モレノ 学習者(月)



スペインのお正月と言えば、大晦日の夕食後に家族皆がテレビの前に集まって、マドリードにあるプエルタ・デル・ソルという広場のカウントダウンの生中継を見ながら、1分間にブドウ12個の皮と種を除いて食べる習慣があります。12時になるまでに12個食べ終わることができれば、運がいいと言われてい



大晦日のプエルタ・デル・ソル

ます。この習慣は1909年から一般的に始まりました。ヴァレンシアのブドウの収穫が過剰だったことがきっかけと言われていますが、貴族の間では18世紀からすでにその習慣があったようです。その後、友達と一緒にどこかへ出かけたり遠くまでパーティーをします。朝になるとホットチョコレートとチュロスを食べたりして過ごします。



～ネパール編～



ミラ サヒ 学習者(月)



ネパールには、さまざまなカースト(身分制度)があり120以上の民族がいますから、独自の暦で異なる日にお正月を祝います。陰暦を元にしたヴィクラム暦という暦がおもに使われていて、ネパールの公式のお正月は4月14日前後です。首都カトマンズ周辺に住んでいるネワール族の正月は10月から11月になり、お祭りや行進、見世物や集まりなどが、あちこちで催されます。人々はお正月休みの間に旅行したり、家族が集まってプレゼントやカードを贈りあったりして新年を過ごします。



お正月の料理



新年を祝うパレード



ネワール族の伝統的な太鼓の演奏

～中国編～



劉丹 学習者(水)



中国の正月は春節といい、4000年以上歴史がある伝統的祭りです。家では家族が集まり、餅や餃子などのおいしい料理を食べ、家族団欒で祝福します。新年が明けると爆竹をならしたり、獅子舞や龍踊をしたり、賑やかに祝います。中国と比べると日本の正月はとても静かだと思えます。

中国の一番大きいテレビ会社「中央TV」のお正月番組「春節 聯歡晚会」では、中国の有名スターと世界的な大スターなどが出演します。漫才やマジック、歌や踊りを見ることができます。



元旦以降はみんな新しい洋服を着ます。特に新しい靴下を必ず履いて、正月の祝いの言葉を交します。3日は嫁いだ娘が夫とともに子供たちを連れて、実家に挨拶に行きます。5日は休んでいた店などが爆竹をならしてから開店します。私は北の出身なので北の話しかできません。中国は広いので土地によって風習や料理が違います。



◆日本語ボランティア養成講座を受講して◆ 後藤 美貴子 日本語ボランティア(土)



「えー！！日本語ってそんなに難しい言葉だったの？」いつもの夏よりとても暑い、8月第1回目の講座が終わった時の私の感想でした。今まで私はペラペラ日本語を話してきたのに、なんと知らないことが多かったことか。しかし、講座が進むにつれて、今まで自分にとってあたりまえの日本という国や文化、そして日本語についてたくさんの新しい発見がありました。再認識することもできました。言葉は「正確さ」「文法的な正しさ」だけでなく、「自然さ」も大切なことがわかりました。そしてなにより、日本語を教えるということは、日本にいながらにして色々な外国の文化に触れることができるので、それも楽しみになりました。「こんな私が本当に日本語を教えらる？」と不安もまだ少しありますが、講師の吉田先生は「教えるのに一番大切なのは、寄り添う心と笑顔です。」とおっしゃいました。笑顔があ…それなら私にもできそうです。